

万葉人が愛した薬猫の地

大願寺の薬草料理 森野旧薬園を楽しむ

日程 5月22日(日)
 参加費 6,500円
 (昼食代・バス代・薬草園入園料を含む)
 出発 神戸市役所前(三宮) 8時30分
 定員 50人(事前申込順)

三宮をバスで出発し、250種の薬草が生息する森野旧薬園へ。薬草園を見学後、徒歩5分で大願寺の山門に到着。大願寺で季節の薬草料理を召し上がっていただいた後、お好みにより自由散策または観光ガイドさんの説明を聞きながら旧松山城下の町並みを散策するコースです。

三宮 8:30 - 針IC - 道の駅大宇陀 - 森野旧薬園 -
 昼食(大願寺薬草料理) - 大宇陀の町並み散策 - 針IC -
 三宮 17:30頃
 ご参加の方には詳しいしおりでお知らせします

初夏の森野旧薬園と大宇陀大願寺の薬草料理をお楽しみいただくほか、江戸時代から伊勢街道の宿場町として栄えた大宇陀の情緒ある町並みを散策いただきます。

お申し込み、お問い合わせは、薬科部まで

TEL:078-393-1817 / FAX:078-393-1802

大願寺・森野旧薬園のみどころ

森野旧薬園…250年前葛粉を作り始めて、10代目藤助が自宅裏山に開いた西日本最古の薬草園。約250種の薬草が四季折々楽しみ、薬草園から大宇陀の町が一望できる。

大願寺 …“薬草の里”として知られ、ゆったりとした風情ある街並みの大宇陀、松山城主、織田信武建立の羅紗門堂や仏足石のある境内。

十葉やウイキョウなど自生する季節の薬草を調理した薬草料理をいただきながら万葉の時代に心を馳せる。

(右; 大願寺薬草料理イメージ図)



参加お申込

兵庫県保険医協会薬科部宛 FAX:078-393-1802

「大願寺の薬草料理 森野旧薬園を楽しむ」に
 ()人 参加します

◎参加歓迎!

医師・歯科医師・メディカルスタッフの皆さん

医院名・薬局名 ()

T E L ()

) F A X ()

お名前	職種